と述べ、所謂法理論に対定 を述べ、所謂法理論に対定 を必要とを一學辨拭 を必要とを一學辨拭 を必要とを一學辨拭 を必要とを一學辨拭 を必要とを一學辨拭 を必要とを一學辨拭 を確信する。 を確信する。 を必要とを一學辨拭 を確信する。 をでの及 を確信する。 をでの及

に政

るに重つ

見を終ったが、イギリス政 関を要求、押問答の末州一 とて强硬に抑留ドイツ人引 後を要求、押問答の末州一 とて强硬に抑留ドイツ人引 を要求、押問答の末州一 とて強硬に抑留とイツ人引

ふ第二元

會見

部を招待交驢を遂げた、席總領事以下現地軍官民首腦

1商會との間に契約が成立 した、即ち今回伊太利より リル、ボール・ペアリング が成立 トラクター、工作機械、電

臓してをは機械類の

0

一月中にはその入れ

財支米大使現地官民ご交歡

作進度を推済と地方

工作對象の重要度と可否安、交通等の諸條件、政治、經濟、產業、人化、政治、經濟、產業

**全滿各省連絡打合會**第二日

、工作別見透し 動發展の將來への地 の地

緊密なる連絡懇談をなし、 脱し行政諸関題に関し中央

中央側柱地方處長その他關中央側柱地方處長その他關科長、新京特別市公署庶務科長等出席し會議に入つたが省各科の事務調整その他

科長、及び總務科長は二月科長、及び總務科長に出席せる全省庶務

は州日朝漢口出發ルソン號を見ては州日朝漢口出發ルソン號を見ていたもの、なほ同大使と

出席することとなつてる

## 升以 發行所 新超 行 XXX

制管 之本 全方 訂數

新京は日新岡社 新京日日新岡社 新京日日新岡社 新京日日新岡社 新京日日新岡社 東郷市山州名・田川〇 ・郷市山州名・田川〇 ・郷市山州名・田川〇 TINA 二一十一 円円 数 五五十十二 議 独領門

迷夢醒

抗

はかこの寒い時に日本軍が 変つて來るとば夢にも思へ なかつた」と述懐してナン かった」と述懐してナン 分問 近した断 通り 近り 近り 近り 近り 近り が 近り が 近り が が 近り が 近り が が 近り が 近り が 近り が 近り が が に が が に が の に が の に が の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に に の に 。 。 週じ一場の感想を放送する分間に亘つて杭州放送局を分間に亘つて杭州放送局を決して彼は来る **加東地方の戦友達に知をはれる占領地域内の負担をある。** 

太安村を占領

を新南方約十五キロ高郵市 風に養助中の敵を掃蕩中で 場に養助中の敵を掃蕩中で 場に養助中の敵を掃蕩中で 場に養助中の敵を掃蕩中で 場に養助中の敵を掃蕩中で

虜中隊長戰友へ宣撫放送

電事施設を完全に機械した 電事施設を完全に機械した 通]南寧 國軍山安隊

馬鞍の敵覆滅

めた

る敵匪の掃

**満蔵を期して薪々戦果を携** 大中である

輸入業者指定

ため薄臘八日附を以て五十四品目に追加し、同統制法に基く輸入許可 留易統制法に基く輸入許可 品目に追加し、同統制法第 四條に基く品目別の獨占的 輸入業者として先づ自動車 なよび同部分品は同和自動 ため舊臘八日附を以て五格の强力なる統制を期す

ファイル



#### 三、特殊地帯一般に民度極めて低く行政の浸民度極めて低く行政の浸足度極めて低く行政の浸透不可能であり民心の安・透不可能であり民心の安・透水であればない。 和會省事務長會議第三日 とする如き態勢を要する情報等の特殊工作を重點で會工作を通ずる宣傳、 地震 聖的に展開し會勢の集注化 整の保持する如き工作を重響を保持する如き工作を重 市本部の

全く聞くと見るとは大變なれてゐたもので杭州へ來でれてゐたもので杭州へ來で

々木部隊は慶山西北方百

「○○鑚州日愛國通」宮森 を攻略して敵據監太安村を記録ほか各部隊は廿九日正 占領し引續き急進中である

敗敵を追び急進撃

南寧平

大殲滅戰

鋭兵團猛攻の火蓋

本はび同部分品は同和自動車 本はび同部分品は同和自動車 本はび同部分品は同和自動車 大會社を、木材は滿洲本葉株式 會社を、木材は滿洲本葉株式 會社を、本材は滿洲本葉株式 を受けること、なつた、後 を受けること、なつた、後 を受けること、なった、後

を物語つてゐる
が攻撃の猛烈果敢なるかがか部隊の損害は極めて心撃によつて破壊された。敵道棄死體累々としてその心撃によつて破壊された。敵道棄死體累々としてその心撃によつて破壊された。敵道棄死體累々としてその

戦果を擴大

# (諸問題懇談

の一般行政問題に關し懇談の一般行政問題に關し懇談

を猛攻

路に敵屍累々 一全く盲射ちに進撃部隊へ砲 弾の雨を浴せて虎口を脱れ かが部隊は弾

駐リ英大使

増加せん

際は左程歐洲戦闘の貿易關係

るるは相當積極化が期待されて

以來英ツ關係は著るしく圓勝のフインランド攻撃開始 引揚ぐ

着を缺き英國政府は駐ソ大 使を本國へ召還するのでは ないかと噂されてめたが、 三十日ロンドンの確實なる がより得た情報によればシ イズ大使は態よ來る二日モ スクワを引揚げ本國へ籌選

英外相を會見

たイギリス側の回訓並にこれに對する帝國政府の反駁 に同時發表を見るはずであるが、發表の遅延は兩國の 法理的見解の對立をこの際 別示することは淺間丸事件 の圓滿解決の上に有効な作 の取治的考慮によるものと 

沖まで連れて來て貰 0) さた軍艦に乗せて した。返せといふ 日

作大革豪都京興新 封切 百月 三信田吉 出演

る打合會を開催、從來各組工事開始期を前に國內土建工事開始期を前に國內土建 後一時よりヤマトホテル

でも農民券に對しては打歩を附して居り、現在では交を附して居り、現在では交を附出しも農民銀行券による事を條件としてその受入れを行つてとしてその受入れを行つて 對策を協議 國外勞工募集

つて二月一日以後において 受くるに非ざれば一切その 輸入を許可されぬこととな

【香港三十日發國通】 曇に 法幣發行準備管理委員會の 法幣發行準備管理委員會の 法幣發行が蔽ひ 禁さインフレ傾向にあることが暴露され、政權系銀行 とが暴露され、政權系銀行

重慶系銀行券 信用を失墜

(日曜不)

達司長、 開拓總 長、石總 長、石總 長、石總

電正三日間の出炭減をカヴ ・ 複画三日間の出炭減をカヴ ・ 根めてゐるが、震正月を旬 ・ 日の後に控へ需要の急増と ・ 電正月を旬

和せられる筈であるが、盆 猫正月の難腸を無事切抜け

售正出炭減に對處

止め策

慶脱するため滿映ニュース 映畫課では一日午後五時中 から長春大街の鉄管所にお いて張國務總理及び橋本協 一心を説く記念講演を同時 一心を説く記念講演を同時 一心を説く記念講演を同時

| 書籍小賣業者の大乗的支援 | 書籍小賣業者の大乗的支援

足かけ四年の陣痛を経てこ

その實施が困難視されるに

ることだけは困難らしい大陰其の通の見透しをつかけたものの只時日を早め

障害打開に苦慮

卒業祝ひに醫大 生日本見物

も非常態勢

治院の説質の際を大衆に送

二月下旬又は三月上旬まで離問題ぞの他に絡んで送に

臣鄉

大五木二、

八五 七二

進物用函詰

第一回步兵業集をといる。第一回歩兵業集をといる。第一回歩兵業集をといる。

海州第一雅後備役將校園で 教育演習會

小五本一

甘栗太郎

第一回歩兵操典普及教育ののも行徳將校園長、内山 勝校會長の挨拶に次いで關 東軍兵事部員梶浦中佐指導 下に教育演習に入り午後四 下に教育演習に入り午後四 下に教育演習に入り午後四 下に教育演習に入り午後四 大会でも二月四日同じく教 で自立した、なほ哈爾濱將 大会でも二月四日同じく教

豊きニハハナ

慰問行

が、書籍商組合の関東州分 價販資を二月一日から實現 岡書配給會社では待望の

甘栗太郎の 甘栗太郎の 神郷名物として益々好 神です 大二本五十四銭 小二本二十七銭

全瀬各映畫館で上映、



打

再都

檢計

討畫

あるから今後の住宅街建設 設局でもこの楽に大乗気で

れてゐる【寫眞は坂倉氏】

中等教

員再

教育

本年度第

回講習會開く

# 一昨年の巴里博騰會の日本 龍設計者として有名な日本 龍設學界の權威坂倉準三氏 は建築學界の權威坂倉準三氏 は建築學界の權威坂倉準三氏 ところ所用のため卅一日午前 七時發の飛行機で一先づ歸 七時發の飛行機で一先づ歸 七時子で一先づ歸 七時子で一先づ歸 七時子で一先づ歸 七年子で一人一場間に ころ所用のため州一日午前 成建築物 三氏の興味ある一不唆

各戸の有する緑地の共通化階が四階の高層建築物とし

に當つて南湖を例にとつた のだと思ふ、新京は可能 のだと思ふ、新京は可能 ればならない ればならない

年度の第一回は二十五日かに對する識習曾は毎回好成に對する識習曾は毎回好成 業科三十名、普通科二百名ら二月三日までの十日間農 現職の師道學校及び公立中 の中等教員を集め實施され

習を受けてゐない者から各學校の男女教師で今まで講

省長又は市長が選抜推廣し その他は民生部が負擔、潜在 その他は民生部が負擔、潜在 に併せて實力涵養素質向上 に査することになつて居り 人員並に講習場所は次の通 りだが國語班二十名を除い て他は殆ど滿系教師である 中央師道訓練所=農業科 (三十名)普通科國民道

本師道高等學校 = 普通科國語班 (二十名) 地縣班 (十名) 代 (十名) 地縣班 (十五名) 體育班 (十五名) 體育班 (十五名) 體育班 (十五名) 理 (十名) 深事班 (十名) 理 (十名) 深事班 (十名) 德班 (二十名) 同日語班

男子事務員

事務員募集

新京富山縣人會四七六)又は裝書を以て御通知を乞四七六)又は裝書を以て御通知を乞

、女夕

女子事務員

數名

を考究中である

全の努力を排つでゐます全の努力を排つでゐます。 に対したが三月までには必ましたが三月までには必ましたが三月までには必ましたが三月までには必ましたが三月までには必ずる。

等 二十歳前後の獨身者 タイピスト

數名

服毒自殺未遂 日午後八時頃東一條通

書籍

價

賣

まが

杨

け

を家人が不審に思ひ部屋を を家人が不審に思ひ部屋を を家人が不審に思ひ部屋を 意興天臀院へ擔ぎ込んで應 急手雲を施した結果、意識 不明だが生命には別駅ない 届出により所轄中央通署 に対いたが兩親、友人ら へ宛てた四通の遺書ある のみで自殺原因不明 から苦悶の呻き躍がするの會社員石井数馬さんの部屋五巴旅館止宿の東邊道閉發 

女子事務員 若干名(但以內地人)

仲 新京東六馬路 大 同

報

東三條通青陽ビル 社

3 △樂

接客係(馬炒幹圖程度)一名

迄に御來館を乞ふ 右御希望の方ば自筆履歴書持参の 都 + 示

外務員 右希望者は履歴書持參木人來談あ お売望者は履歴書持參木人來談あ 7

安全を 一年齢二十歳位迄の方 年齢二十歳位迄の方 集集 三四元五朝



#### 重工業、化學工業をはじめ て来た、関係富局の努力と本語、 を前にして採煖用炭磁保の 日の後に控へ需要の激増による石炭不 の諸運動は相當の好結果を ため政府ならびに日滿商事 舊正三日間の出炭減をカヴ では全滿各炭癜の舟産强行 アして採煖用炭の圓滑な需 では全滿各炭癜の舟産强行 アして採煖用炭の圓滑な需 を要請する一方石炭消費節 給を期するため政府及び日 を要請する一方石炭消費節 給を期するため政府及び日 を要請する一方石炭消費節 給を期するため政府及び日 を要請する一方石炭消費節 給を期するため政府及び日 般事項を懇談 **門拓廳長會議**(第三日) 節約運動を一段と强化してのため對日供給増加の必要 輝く二千六百年の紀元節を一

紀元節慶祝演説 ニュース映畫に

の誠意を表するとゝもに之ついた傷病療兵に對し感謝のいた傷病療兵に對し感謝のいた傷病療兵に對し感謝

方に出強、親しく

▽ 常省第地第四地三方

10

とになつてゐる

**內治安粛清のため日夜奮闘 満洲國では國土防衛並に國** 

が慰問を行ふため各部大員 總務長官、興安局總裁を強 長とする(各班五名内外)慰 問班を組織することとなり

之を激勵する事となつた >第一班=黒河、北安各省 地方(呂蓬業部大臣) ・第二班=三江、安東各省 地方(李交通部大)各臣 ・第三班=瀬江・牡丹江

地方(星野總務長官) >第五班 = 奉天、錦州、然 河各省地方(張司法部大 臣) >第六班 = 龍江、興安東北 省各地方(韓經濟部大臣) >第七班 = 興安南西各省地 方(扎興安局總裁)

脱問題はむしろ定價賣りになほ書籍商組合の關東州離

伴ふ準備工作と

もので「満配」の配給統制

あじあで離京 三十一日午後一時四十分發 あじあで離京

松岡滿鐵支社庶務課長

松本豊三氏離京

新總局と産業部関係指示事 をの他各省関拓民生の関係 をの他のでは関 部民事司長、山梨稅務司 長、松井鐵路司長、宮木 長、松井鐵路司長、宮木 時期五、龍江開拓、總州實 業業、濱江開拓、總州實 業業、濱江開拓、總州實 項、その他開拓一般事項に付き協議懇談、各省の希望 中後は將來立案せらるべき 開拓關係法案の説明をなし 完新に付き各分科會を開い て検討協議し六時頃散會の

奉吉沿線高

待機!張切る

千六第

E

鐵道精神總動員(門)

通信社長のり 静事情の講演 を紹生・國境観察 を招生・國境観察 を招生・國境観察

製帽同業組合 新京高工会會子結成式を舉新京の浦人側製帽同業組合を養証により製作同業組合を養証により製作同業組合を

融いたのも関軍男士

智

舊正を當込んで

小麥粉の密賣買

舊正慰問袋

國婦の手で國軍へ

を遂げ材料品を配付した

師所運搬中を發かる

そと欣耀豪加と決定 五十餘名の會員が殆んど日 本へ旅行中なので『猪狩り する歸つて來い』のウナ電 残して非常召集するなど捕 らぬ猪の皮算用などして大

到し保官を感激させてゐる 一部、各地共興募志願者殺るが、各地共興募志願者殺るが、各地共興募志願者殺 か十二日建昌縣の歩兵檢査 一青年懇望の

た観察、勝承した五軍常光 上尉は國軍を慕ふ民心の現 れとして次の如き感激談を きは下ラホームの重症で一般れたが非常に良好で一般れたが非常に良好で一般れたが非常に良好で一般にあることが隨所にいるので、或る電子の如

れた を検査場を立去らず到頭 を協つてと厳ロしていと際望し を協つてと厳ロしている際記した。 をはしたして治れば入れて をはつてと厳ロして歸れと を成ってを願して来たが を感っなその師に當る をないる。 をである。 でもできる。 でもでもできる。 でもでもできる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる。 できる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 できる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 できる。 でもできる。 できる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 できる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる。 できる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもできる。 でもでもできる。 でもできる

係官も根負け あ

歷史 ▲興亜率公日 す〇旦

豫定 電に出張二月五日頃歸任の ため三十一日午後一時四 のため三十一日午後一時四 で本天及び大 連に出張二月五日頃歸任の

年齡十七、 ガール 人能より二十二、 集 iii

且場

に

頑張る

3

三歳迄月給は面談の上 (3) 大大〇

新京六馬路二〇七

年齢二十歳前後にして明快の方 単独 保少女一名募集 中央通威都グリ 月收百五十圓內外 と 水中さん 数 を 楽 数 名 家 な

在新京 岩手縣人皆様に御道がた記の通り總會並に鎮隆會相催し候問書って御出席を乞ふ 二月二日(金曜日)午後五時より國都 「一月二日(金曜日)午後五時より國都 「一月二日(金曜日)午後五時より國都 「一月二日(金曜日)午後五時より國都 「一月二日(金曜日)午後五時より國都 「一月二日(金曜日)午後五時より國都 「一月」 新京岩手縣人會

係社

州生活必需品來會社 員格 

子ピスト

北支行日本人大工募集但し煉瓦造建築に經驗有る者但し煉瓦造建築に經驗有る者側し煉瓦造建築に經驗有る者等京豐率路五〇八分號

富山縣人各位に急告

富山縣人各位に急告

清年醫與會を兼ね定期懲親會を左配に依り開催す、
會員誘い合せ多數御出席を乞ふ
一、場所、賓宴樓(認念公會堂前)
一、場所、賓宴樓(認念公會堂前)
一、個費 金四圓(當日持多のこと)
一、自費 金四圓(當日持多のこと)

大戦の眞つ只中にあるイギー大戦の眞つ只中にあるか、 が興味をもたれてゐるか、 が興味をもたれてゐるか、 をデンと撃げると左の通り をデンと撃げると左の通り を受けると左の通り

細川俊夫北滿

人方の人々がひつ人方の人々がひつん方の人々がひつん方が図太郎のなかどらかそいつるかどらかそいつるのが陣太鼓のるのが陣太鼓のるのが陣太鼓のるのが神太鼓の

撮影に隔野業、新京キネマ、豐酮」り、開野初美、吉川英剛、潮萬太郎至子、非染四郎が主演して綴る純ি香子、非染四郎が主演して綴る純ি香子、非染四郎が主演して綴る純ি香子、非染四郎が主演して綴る神道を

六拾銭

均

製作 構成

讀賣 談譚

聚團 新聞

門浪離 奇 適曲色 術

( )



(日曜木)

設」全五卷が此の度東和商 で映畫に取めた記錄映畫、 で映畫に取めた記錄映畫、 を映畫に取めた記錄映畫、 品に活躍した日活多摩川の 幕にお別れ 幕にお別れ

ででは、 西部関連のは、 西部関連の防衛 西部関連の防衛 7. 獨逸が、。 勝衛の目が 変悪に對い

開東五府縣から 前線是問團派遣 「東京國通」東京府、神奈 川、千葉、山梨、埼玉の五 所縣及び東京市の共同主催 が新田の田動中の部隊

もなく北浦へ勇耀出設した スタア 細川俊夫は入營後間 スタア 細川俊夫は入營後間 した大船の賣出し 日活撮影所現況

12,00 3,10 1,00 4,10 1,20 4,46 7.:0 8.00 10.00 三十日より一日まで 五十銭開放

名子役鳥耕二監督の愛息片 山明彦君は四月かち杉並園 の明星中學校へ入學するの で京都撮影所における「大 楠公」に正行の出演を最後 として銀幕にさようならす ることになつたが、暑休、 多休みなどの間に完成出來 る作品には隨時出演する 豆楽劇場

歡迎され

戰爭映畫上映

7,00 7,50 8,58 10,13 3,30 4,20 5,28 12,50 1,58 料金80セン

成ろっていたは、 でといいなり、 ででしているのはできない。 ででしているのはできない。 ででしているのではでは、 ででしているのでは、 ででしているのでは、 ででしているのででは、 ででしているのでで、 ででしているのでで、 ででいるといるとでは、 ででいるといるとでは、 ででいるでは、 ででいるといるとで、 ででいるといるとで、 でのでいるといるとで、 でのでいるといるとで、 でのでいるとで、 でいるとでで、 でいるとで、 でいるとでいるとで、 でいるとで、 でいるで、 でいる でい、方間のとマたつの出まとぬ人のの有なるだ年月を昨柳銀 張な丁に手大、何大でか向だ憤靡だでが様くににをは切年企キ り接度移術陽こぜ陽みはく居骸がら、二だても退迎病開末書ネ 切配映動ののれ大のせり譯りし飛うあ年が病家院へ院、大子の るで書しお下に騰邊る二けまてんなり越▼院がす未で正腸、花

12.19 3.48 江戸の花和尚 4.57 1.28 2.38 6.07

7.17 8.26 9.36 10.22

12,00 12,35 4,32 7.30 8.10 10,17 の舞曲 4,42 1,15 三十一日より二日迄 入場料金四十セン

高最都京竹松の度年六徳康

**佐**名 **花 柳** 章太郎 九日間限り 健一

H

まで

日日

より

二月

染相櫻小 模川 李 千太闆 代郎遊彩彩 封切 長 漫か落つば 6 才れ語 春 卷三

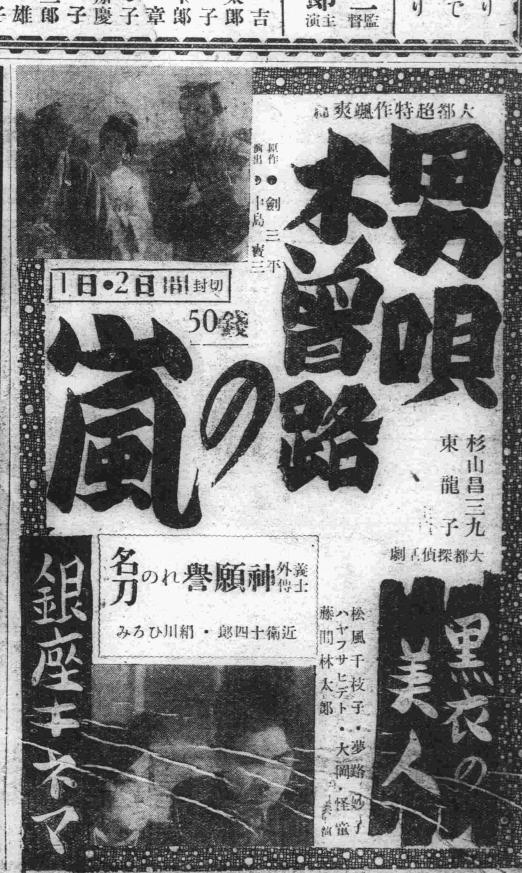
娛樂短篇

好みを

を描いて哀感の極みる女の哀戀とまこと 川依村溝泊口田松口井 信 太義稍健太郎賢風二郎

花最岡中玉尾奈石葉關高梅磯嵐森志柳花河伏川高 細上田川島土良原山

演實華豪の前空るす了魅い言狂名の番八十郎壽寛 幸福の窓上が 外國寛ドキノ 全太壽ラノ はされたキノドラマ によつて御馴染み寛 ではされたキノドラマ でよって御馴染み寛 で御座 を変華な質演で御座 とに組合 長唄 か 市澤 川村 正國 ほ 郎郎 劇



せんでしたか?」

●一白の人 運漁定らず變動多き日なる故に注意すべし 南と幸と北が吉 一黒の人 一家一團となり働くときば古日と成る

角 收 大 甲 木 宿 安 戌 曜 口 一 戶 二 下四 計 月二 十 舊

屋から灯の色が洗れてゐる 『おや、お前さん、先へお『ラ先です』 と、女が、さら云つた時、急 と、女が、顔をあげたとに提びの光がさして、跫音 き、九兵衛は、危ふく呀ッが近づいた。 と離をあげるところだつた となるがいれても……』 ところだった

二十七日より卅一日まで

大调 殘 菊 物 語

11,60 %,0 7,60 11,18 3,19 7,18 12,23 4,23 8,23 1,52 5,53 9,53 1,52 5,53 10,54 日主で 料金一個

ルビ興大街大向大京新れの九六・ハハーニ②話電

と、一人が云つて、『いや、失禮しました』と、もう一人の男が云つたとき連れの男が、小首をひれつて、ぢろぢろとお道を見た。 と、九兵衛は、不愉快さらに手先たちを睨んだ。 

●六白の人 成就すること ・大白の人 根ので事に當り で古 異と丁と辛が吉 ・大名も皆進んで事に當り で古 異と丁と辛が吉 ・中では、一直線に進めば大変 展す と丙と辛が吉 を西と辛が吉 を西と辛が吉 を西と辛が吉 を西と辛が古 を西と辛が古 を西と辛が古 を西と辛が古







底的質踐を期し往聖業達成に選進し

産家公日と改称 の愛國日は去す の愛國日は去す

を積極的活動をある、自粛自成の

事を行ふ、皇居、十行、家庭で

と破皮なる朝のでは住居内外の

幸公の赤心一色に塗りつと 業により関都を舉げて興西 地でなる日にふさはしい終 の音優に併行

と」なった

から質慮するこ



▲貴族院=午前十時本會議 を開き来内首相の一般施 方針演説、有田外相の外交 政演説、有田外相の外交 方針演説のくち畑腔相、 方針演説のくち畑腔相、 方針演説のくち畑腔相、 では本會議散會後決 で、なほ本會議散會後決 で、なほ本會議散會後決 で、なば本會議散會後決 で、なば本會議散會後決 で、なば本會議散會後決 で、なば本會議散會後決 で、なば本會議散會後決 で、なば本會議散會後決 で、なば本會議散會後決 で、なば本會議散會後決 で、なば本會議

(日 權 木)

央政府も態よ近く成立を見ることとなり、これに對することとなり、これに對するわが基本方策も確立を見たのでわが現地外務當局は 卅一日午前十時より上海總領事館に外海省現地會議を 開催、本省より田尻東亜第 一課長、現地側より加藤公 △業議院=午後一時本門 ・大震を代表して質問、更 大震を代表して質問、更 大震を代表して質問、更 大震を代表して質問、更 が立から夫 に時間があれば響藤隆夫 で小海 を開き資族院同様首相、 を開き資族院同様首相、 を開き資政があつて後藏 が立れば響藤隆夫 衛氏を中心とする支那新中【上海州一日發國通】汪精

物を見せて

れ

やう

斷

中央政府の誕生により生ず總領事その他關係官出席新 田厦門、桐南京・喜多廣東使、三浦上海總領事初め ヒ總統

して一時間に亘る獅子吼を 戦を展開した、ドイツは從 来英佛雄間の方針よりフラー

1總統は卅日夜シューリン三十日後國通】! たナチス黨施政記念祭に臨 三週間承筆戦の中心をファーので、又ドイツ新聞もここので、又ドイツ新聞もここ

ガエルサイユ體制: 要旨左の通り【寫真】

日はじめて

協調政策を捨て英佛

に 選 当 ら ド る 首

長會議

一長さる

ツのかゝる方向轉換

中他火を浴せ

「勝返相談」(東京関連) に関したの如く語った 電力問題は対下の独めて 電力問題は対下の独めて 繁要なる問題であって、 その解決はか~つて石炭 の配給にあり、自分は就一 針である

十のくのことは 一日東京でない。 一日東京でない。 一日東京でない。 一日東京でない。 一日東京では、 一日では、 一日では、 一日東京では 一日東京では 一日東京では 一日東京

不見 東京関通) 藤原商相は州 東京関通) 藤原商相は州 炭の 强 制對策

陽西三割五分

事 往

電力調整令發動

石炭にも强制對策か

第一日から上には は、10年日から 第一日から 第一日が 第一日が

日を述べこれが其體的措置 については商工省が中心と としては萬一束る十日頃迄 としては萬一束る十日頃迄 としては萬一束る十日頃迄 人品等に闘する旗号有にはこ 大品等に闘する旗号 第二條による動令の公布にはこ よつて石炭の強側集荷を行

検討に及ばず結局開拓應長 たゝめ協同組合芸に關する に関連の検討が護軍に行はれ

たが第三日日における開拓 をもつて終了する豫定であ を満門祈廳長會護は卅一日

で終了する豫定で

駐端大使館附海軍武官桑折 社員と會見 社員と會見 打な同も 少野は州一日午後D・N・B 通信特派員ベーケンカンプ 氏のインターヴューに感じ 左の如く回答を興へた は壁らない、更に同様の 事件が競生すれば日本毎 の指置を探るに至るであ あらう。

内 務 幹 令 卅一日付 滿洲國然河省理事官 岩田 常雄 后地方事務官(六)

(〇〇州一日發國通) 昨日 三十一日からりと晴れた、 三十一日からりと晴れた、 は一瞬に美しい銀盆と化し は一瞬に美しい銀盆と化し で展光に輝き塞氣は益す湿 がて疾騙するが、わが地上 本部盤の精鋭は飽くまで意氣 山の麾下二萬五子との決戦 も目前に迫りわが砲兵部隊 の猛然たる一齊射撃の覇音 はオルドスの靜寂を破ってオルド ではオルドスの靜寂を破ってオルド のを終める一齊射撃の覇音 はオルドスの靜寂を破って マ陸猛攻撃 空陸猛攻撃 相と懇談 重光大使、英

件に關してハリフアッグス 英外務省を訪問、淺間光事 光駐英大使は卅日午後三時 外相と懇談を遂げた

一般な論戦豫想

質問第一陣 衆院は小川氏

3/L

よ

ら討議

きのふ第三次會

なく日英双方の公文が同 なく日英双方の公文が同 なこと」な

の重要法案続り

はサを早中イ期起

新一京神社、九典 宇前八時半より新京神社に 於いて舉行する與亞奉公日 於いて舉行する與亞奉公日 が、開式の辭二、滿州帝 國國旗揚揚(國歌齊唱)三 皇居、帝宮遙拜四、講演 (恒吉協和會輔導部長) 、滿洲帝國萬歲六、日 本帝國萬歲七、閉式の辭

國間の貿易及び支拂に關し も六月一日以後における兩 き六月一日以後における兩 き六月一日以後における兩

が開始につき種々打合せを 次長との間に新協定締結交 水長との間に新協定締結交

滿獨新貿易

様である 様である 様である

正式調印

會議は一日延長、第四日日 は午前十時より閉會、午前 中は經濟部關係官との間に 提村金融問題、配給統制問 に関いて質疑應答が行ば に関する分科會を組織、檢 に関する分科會を組織、檢 三 刺令公布 開拓政を選系本要綱の實施第一年度策正で開拓行政を擴充に對應して開拓行政を擴充

山美 四

北瀬でひろった話▼一二年まべのこと、ある町へ流れてきた日本人の刀研ぎ職人の軍刀をといて近づきに扱っているを書を下げてもらった表したら、それではといて近づきになって来地にゆき、それではといったが、けつきよく一萬間とかで費りつけよく一萬間とかで最らった。

十五萬圓はもうける見込工 ださうだ▼話の限りではない 北浦で實際見た話▼あるに 北浦で實際見た話▼あるに を營んであるその主人夫は ・し、わづか四年前に、金玉 十圓也をふところにして、 何のあてもなしにやつて本

の日のくらしにも関り、町 ふところまでこぎつけたと い▼その上にもし病氣でも んな社会教育にも含むしているからあるらしにも関り、町 ふところまでこぎつけたと い▼その上にもし病氣でも んな社会教育にあるが、近くいるからなどともに、 足の世かいが、近したら、一體どうなること る者や、それる者が出るのでもの治療な後腰とともに、 足の壁があるのだが、近くいるからの苦力がらまたところ、その土 しても年工の三人ぐらるは 民の中から、都管における金ま けんぎことで有整 ものではない▼そこでどう いこととは、いきほび開拓 をはじめたところ、その土 しても年工の三人ぐらるは 民の中から、都管における金ま けんさことに 地の急渡な後腰とともに、 屋ふ必要があるのだが、近くの中から、都管における金ま けんさことに 大宮りにあたつて、とれと 大宮りにまうかり、新葉 仕ないでしてでいた。 なることは、いっずうな、いはと頭や日 投いやできるだけ少くする工 にす。とう「一間」三間と なまやさしいものでないが、近くの上にもして なまやさしいものでないが、近くの上にもして にならない 大したもののおのとして内つてるる。 それ以外にもいろでしても、なることもともに、 のが、何としても、ある程 く、かたくその土地にむすまれも 着もあるけれぐ 金まらけ 内のはた ものでないが うた連中は、何とかチャン ぐにやらねばならない はも うんん役しくで内つてる。 人りがあることはいろ「人と物 たまりにありつか ことに 伊から、着りの間指長は、何よりも金 はむしろ常然からるとして、 月素とりにありつか はならなかと は、と非らればならないといることに はずるの時代から前落経営と に困るといいることは、また、ありついて 生き方老へ方を早くかため えらの時代から部落経営と に困るといふことは、また、ありついて 生き方老へ方を早くかため ようのでであるらしいが、近くではなれなが、近くではなれない。 また日の時代から前落経営と に困るといふことは、また るる者があるといふのもら





【頁二十刊夕朝紙本】

發行所

**阿亚**罗

新京日日新聞社 新京日日新聞社 十 河 榮 忠 人 和 遊 第

金書 切無

行用用

二一十一 西京五 十十 編物銀門













【東京國連】有田外相、・ 中に関し卅一日午後第三次 會談を行つたが會談終了後 年後七時十五分外務省では 有に関し左の如き情報部長

務大臣は一日

な考へ方、或ひは言ひ廻し 方の色が强いのをわれらは そこに見出す。それではな ほ不足であらうと考べさせ られるのである。こゝに住 もれるのである。こゝに住 でもその對國家對社會意識 を異にしてゐるのである。

ての實際を認識したその

米海軍富局は一月五日の下 建造計畫中の四萬五千噸級 東すべく検討中である」と 更すべく検討中である」と 要すべく検討中である」と で、要に同月九日スター が現實に五萬噸又は五萬一天型に變 が現實に五萬噸又は五萬二千一次 が現實に四萬五千噸級 が表記さること とならう」と述べ、米海軍 が現實に四萬五千噸級 が表記さること は、東京

の建設、ヴィンソンの新海軍擴充計畫案、日くグア 海軍擴充計畫案、日くグア 海軍擴充計畫案、日くグア 大建艦計畫を銷意實行に移 東一の海軍を擁し、ツン案による の言に耳を傾けやう、記れなき来 寒闕艦隊司令長官ジョーン 文集と他々 大連艦計畫を銷意實行に移 が、なほ且つ斯はのもの 電後上院に於て 下ン會議の 要排に於ける門戶開放政 を選択した。

を 遠く 二 あった

は吾人の太平洋上に占有する優位を悟らればならぬ、太平洋は今世紀に於いてわが米國民の勢力範には海軍擴張の貴務なる。とを徳とし、彼の海軍擴張の貴務なる。とを後とし、彼の海軍擴張の貴務なる。とを後とし、彼れの誕生日をである、斯くて一九〇三年米海軍は、水ナマを後してバナマを後に対ってある、斯くて一九〇三年米海軍は、水ナマを接得、翌年より獨立せしめ、それは太平洋、大西である。

で必びる

0

十大億州の國防

日く快速巡洋

從來權利義務觀念

而して民族協和

の一體關係が

建國精神に

根柢として成り立つとこれ が従來明確を缺ぎ、これた 基調をなす民族協和の談談

理論的精錬を期す

ボ

殿寒のキー

ル軍港に待機するド

ボ

(=)

說

で変形角理安定とした。 

河北省官民

本を受め主體的 本を受き運動長間 本を受き運動長間 本を受き運動長間 を表するの主體的

協議會への理解 新政府成立期

理處原時職員設置側(十二 原制中改正の件(十六) 原置制中改正の件 原制中改正の件 原制的。

人)國立馬廠官制(十二) 閉 (二十) 國立馬廠官制中政 正の件(十一) 馬事技術 正の件 (十一) 馬事技術 正の件 (十二) 関立極馬場及國 での件 (十一) 関立極馬場及國

制四員(拓 )設計總 江鐵三局

# の矜持を演奏せしむ ではしめ國民の指導者た は、大学の表質向上を関り特 機和左の諮詢に

と して右統制事務處理のため てゐると して右統制事務處理のため でゐる エチル海相よりこの旨命令 ジェームな エチル海相よりこの旨命令 ジェームな エチル海相よりこの旨命令 ジェーム が愛せられる模様である而 任命を見 イギリス政府は海軍省内に ギリス有数の造船家サー・ジエームス・リスゴウ氏の 任命を見るものと傳へられ

下院海軍委員會は二ケ年 下院海軍撤農案を安留と考へ は今後世 振農業を要出たあと でその態度を決定するこでその態度を決定するこでもの態度を決定することとならら

河北省内の

國共相喰む

商川

後三塩日

各地株式市况

楽强を!

ギリス商船は撃しき敷に上 るがさなきだに船腹需要の 多い職時下として之が補充 は今や緊急の問題としてイ ギリス各方面注視の的とな つて居るが卅日ずムステル

と戦 合一帯で

は東海岸沖で饗墜せられた は東海岸沖で饗墜せられた de

英東海岸

った、 獨後一段 でわが防部 でもが大なる損害 でもが大なる損害 第 れた が商船隊を爆撃し かる損害を與へ得 はヤーマ

米海軍當局反對せず

反對か

蓬莱町-丁目電話③3180











等形交換高 GIIII

即與曲集宣 協奏曲・第八帝・イ州界 トッカータと週走曲 P.

### 次の通りである。それぞれ詳細に部分的に行はれたが、その要點は協和會全國省事務長會議に指示された劃期的な本年度の實践方針は曲質践部 曾 本 年度實踐 LA

ル長官缺 一會に

造船統制 英念よ着手か 英念よ着手か 英念よ着手か 日下の所この問題が上院 外交委員會でどう取りあ きも今の所上院外交委員 會に出席する約束はして るない 【アムステルダム十九日 図通】アムステルダム十九日 で前英佛海峡からファース ・オブ・フォースに至る英佛海峡からファース イッ飛行機との間に数次に 直る猛烈な戦闘が行はれた 石武装商船は油槽船エイセル・モナーク號(八、八九 王・一噸)等の英船並に補助鑑とドアル・モナーク號(八、八九 上でオランダのウェスド・とンダー號の乗組員が右職 といが、戦闘を明瞭に目撃しては北た不敬。

獨機一機擊墜

(日 曜 木)

母来るやうになつたことは 出来ず、反對者を脱得 した問題に願心が拂はれ、 した問題に願心が拂ばれ、 した問題に願心が拂ばれ、

出來るやう

ただ報道に

もしく日本人的 よつて考へる

のである。

軍大擴張

の意

图

要とする 要とする 要とする 要とする 要とする

なほ者

「ロンドン三十日後國通」 英國空軍省遼表 ドイッ空軍は廿九日に引 海岸洋上の英國船舶に對 海岸が上の英國船舶に對 では、100円の第一個では、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円の第一のでは、100円のでは、100

と、換言すれば
に 機して なるのである
と、これによつ
とで違ふのである、一はモンロ
に 趣言の全く矛盾した二つ
に 趣言の全く矛盾した二つ
に 趣言の全く矛盾した二つ
に 趣言の会く矛盾した二つ
に 趣言の会く矛盾した二つ
に 趣言の会く矛盾した二つ
に 趣言の会く矛盾した二つ
に 趣言の会く矛盾した二つ
に 趣言のとの
に 表のである。、これによっ
とで違ふのである。
と、一世紀の胸に、 、一世紀の時に、 と、一世紀の時に、 これによっ
とを知らなられて
と、一世紀の
とのは、遠く
とで違ふのである。
と、本本学は
と、一世紀の
とのは、遠く
とで違ふのである。
と、本本学は
と、一世紀の
とのは、されに対
を とでされる
と、一世紀の
に は で されて と で されに表面の を と で されに表面の を と で されに表面の を と で されによっ
と ならり、これによっ
これに対
を を に は で されに表面の を と で されによっ
これに対
に は で されに表面の を と で されによっ
これに対
に は で されに表面の を と で されによっ
これに対
に は で されに表面の を されに表面の を と で されによっ
これに対
に は で されに表面の を 先立ちチアノ伊外相は天羽 一般日本大、公使會議出席に 一般日本大、公使會議出席に 一般日本大、公使會議出席に

新

的共樞軸提案

日 駐伊大使に對し新防共権軸 結成を提案したとの風設が 行はれてゐるが、イタリー

関 (場されてあるのである) 「 本るのであるが、太平洋方面」 で なりである、これによっ で で制定された来國の海軍政 確 備綱制、訓練は、見て西太 平洋進攻作戦を前提として

伊官邊正式に否定

と正式に右流説を否定した。 示唆を行つた事實なし 示唆を行つた事實なし

船員養成所卒 ・業生に特典 交通部では康徳五年度から 開設した船員養成所(修業 を根二年)の卒業生に對す る船員證書並に檢定試験資 格を次の如く決定、卅一日

上級證書の授具に際して

定少員一東例年令國京

日比五對三の勢力確保 によつて遂に多年の宿 る「世界一海軍」建設 で、不公正非妥當的

政府法律案

0

左の法律案を業議院に提出し東京隣通」政府は三十日

田の財源にあるる為時和十五年度一般會











01

年銀帳尻が加し、単位千個

対出 くれ、正八 人一覧、中川

三月一日となった。 生であるが、大田屋 であるが、大田屋 であるが、大田屋 であるが、大田屋

は密峰閉拓訓練所官 温制中改正の件(サ 一)産業部内臨時職

岡書館山崎館長を訪ねて開 関書館の窓から見た讀書傾 関書館の窓から見た讀書傾

は交遷方面と直接仕事には交遷方面と直接仕事になると商業が最出す婦人方のたり、婚んどこんな本が、婚んどこんな本が、婚んどこんな本のとは後、女學生などかり、手襲方のなど、大学學生などがより、

會協

| 合講演を行ふ豫定である | 合講演を行ふ豫定である

綜 大 乘

### 聖恩の旗捧持 上競技

一業者にも掩護

風流歌便り

「岐阜関河」 計九日の宮中

「岐阜関河」 計九日の宮中

「岐阜関河」 計九日の宮中

「岐阜関河」 計九日の宮中

強選歌五首の中中支の前線
から詠進して晴れの光榮に

着した歌人勇士申支派遣軍

今川殿武田仁穂鞴重兵一等

同野者とともに自動會を組織歌道に精進する傍ら各種の交響雑誌にも應察し再三 八賞したことのある郷土の 大賞したことのある郷土の 市年歌人である、同勇士は にも必ず一首づつ歌を添へ てゐるが最近のものには 御佛もまもりますらむ國の爲め敵の砦にするむわった であるが最近のものには かかうを

會塲準備全し

行政機關。

新合作社法制定

を続る波紋

副縣長の動き注目

の第二回全満スキー選手権 出ごれる豪快駐絶のスキー 出ごれる豪快駐絶のスキー 中一待望

牡丹江省公署ではかねてか ら日満兩國政府の斡旋によ る開拓團や省官吏の出身縣

年率記念事業として日本電人東京関通」 島紀二千六百 (東京関通) 島紀二千六百 (東京関通) 島紀二千六百 (東京関通) 島紀二千六百 (東京関連)

日曜どもなれ

大學圖書館

牡丹江省の新考案

開拓團招致の手 多大の注 【東京國通】全日本アマチーの計にも觸 伊拳 圏選手招聘 ら吏出身縣に

たほ同社では右蓋木發刊を が得て東京、大阪廟他をは じめ全國八十餘の主要都市 じめ全國八十餘の主要都市 館といつな来る

中學校生徒

電流出所員は富土町と東 楊に郊外譚 家 管子劉天二十日午後五時三十分頃大 「たあるを發見追及する、「たあるを發見追及する、「 國君 (二五)と云ひ、所 國君 (二五)と云ひ、所 

ト、ウエルターターターターのエルタム、フエル

バンタム、フエザー、ライト、ウエルター各級の全伊ト、ウエルター各級の全伊とれが實現すれば今秋のわがスポーツ界のビック・イヴエントとして多大の期待がかけられてゐる 会就事年目六千二元紀 会 協 選 放 本 日 歌9隊勇義年少离 中四波德村家岡山 子文家四 建 山德 歌 **商勝田**灰

**浸野セメント總會** 

新京八島小學校で開催され 新京八島小學校で開催され 新京八島小學校で開催され 方面から惜しまれてゐる 全滿女子卓球戰



法

他 一

欠几

★原稿募集(新内閣に訴

米内内閣出現までの政界底流…白 木 正近衞公は何故出馬しなかつなか…山 浦 世松 野・松 浦・籐・藤 原・木 村…永 田 一

伊藤正海

軍部大臣に要望す(動物)…河野で密見玉新内相に提題す(動物)…清、澤、冽樓內新藏相に依っ(電影)…河野の部賢一



電話②五九二四

新

事変處理

考察

藤尚之

科醫院

力治新

内閣の性格・馬場に

…岩淵 辰雄

月 圓廿 岩

四不像も興力

今秋開園の動物園

防空を敷料を入れる。

(文藝評》

(小說)(小說)(小說)生家繪赤風雀駈

家の

談 和改革の原動力 ### 羽に 五郎 以権 と和 戦 問題・村 上 隣 以権 成立後の課題・杉 片 廣 歳 工 と 國 際 經 濟 性 工 藤 幸 劇 」 工 開 放 日 米 關 係 一 益 田 豊 彦 リカ國務省の内幕·B·ヒュー 益山豐彦

H P

風のある

ず北側も南側も開放してお すと関喉の粘膜の抵抗を作

と用

D て

絹地と

歸った

外氣の當らぬ部屋にでも置 へます、この十五分乃至二 十分の間弱い子供等は直接 外氣の當らぬ部屋にでも置

用意して かからないと、つい無精になつて充分なお掃除が出来ません、 髪室の温度の高いのは安眠を妨げ非常に有害です、ステームなどなるべく止めてしまつて、窓に廻轉欄間があれば開放してねること、 と おれば開放してねること、 と で が です

#### 2 かれ 。注意が要る 子供の戸外運動 一旦窓を開けよ

彈んだ姿

、三 と時間を延長します、遊び 外領 に夢中になつてあても小さ 外領 に夢中になつてあても小さ から二時頃までの間に適宜 十分か十五分間位づム戸外 に出して遊ばせます、勿論 この際も充分防寒の用意を この際も充分防寒の用意を と時間を延長します、遊び

痛くないかをたづか ルを六、七倍に水で**う**す

日本の香りが

婦人服に滿

今春のモー

が、柄行に至つては全く目地風の變化もいろいろです

間に自分にふさはしい獣を 関性によつてこの雨極端の 関性によつてこの雨極端の

線の太い方は幾分長目にフ

がある

大根脚をカムフラー大根脚をカムフラー

人も相當の防寒を安全です、なほ掃除を

在を充分に活

てると格好がつきます、フ で肩の裏に綿を入れて仕立 で肩の裏に綿を入れて仕立

が育すぢが美しく、撫で見からハイネック襟無じの古からハイネック襟無じの古からハイネック襟無じの古が長い

はります、冬は室内でも随 ない時でもうがひを再々や らせ、就纏前には必ず勵行 させます、初めは微温湯に は必ず勵行 で塗つてやると大抵すぐ 下 内でも随 大抵すぐな を再々や 痛か くと安全で

せての奮闘振りの相撲放子供の時間まで喰ひこま 人でも求めに出ませんか とは涙が出さらです、放 送局の方は机の前にばか が出ってるないで街へ新 ◆…十四日目 輝きに満ちた皇紀二千六百年の春の澄音が、凍つた大年の春の澄音が、凍つた大地の彼方からしのびやかに近づいて來るこの頃、婦人たちの服飾の上にも明朗にしかも力強い二千六百年調といつたものがそろく 現 の婦人服をリードするア・といつたものがそろくの母 躍この春の婦人服の王座を毛織物統制の波に乗って一

銘何があります、おつと、 とい 度後や格子や りょう いっこう イブに 昔なつかしい 日本 の香りが溢れて るます、い は い 古い 日本の 映 を 非常 時下 二千六百年の 興 亜 の 春に 下 二千六百年の 興 亜 の 春に

ルます、従つて昔の銘仙にれます、従つて昔の銘仙に 校べて色彩は一般に濃厚で 地色や配色も黒、ブルー、 大膽なものが多いのです、 大膽なものが多いのです、 大膽なものが多いのです。 銘仙地の線でせら、生地も 者側にもすぐ馴染めるのも だけに、生産者側にも消費 として最も親しまれて來た 頃から日本の女性の不斷着

利用されませう 利用されませう 地海地差通りもあります した地を選べはスーツにも した地を選べはスーツにも

先づ下地はコー 結び上げる方が非常に多 お正月から節分にかけて

・クリームを額から頸へからで拭き更に化粧水を脱脂綿 にひたして残つた脂類を拭 きとります、若し脂肪性の カはアストリンゼントローションで式を すぐ頻紅 1の拭綿 化

質に白粉を つける際は、近頃は髪のットをみ際は、近頃は髪のットをみ

美味しく

に此の樹の 本髪で頸筋の黒いのは醜い ものですから必ず顔よりも 白めにします、それには水 白粉を顔一回に對して頸を 二回、いづれも鎌刷毛でつ け、牡丹刷毛でよくならし にやさしく描きます、なほ 墨は粉で型は心持三ケ月型 も整へ目に小さくつけ、眉 毛の中に白粉の入らぬやちてる必要はありませんが、 日に小さくつけ、眉口紅も洋髪の時より

ビチャピチャと水つぼくつ-か一種いやな臭ひがあつて かって

聖遺巡り 四

モロギ)

ます「寫眞は

ン 手力男の命(下)天鈿女命】

浮き出たあぶらを

交渉を開始せしめた、陸奥 た豪傑)をして天いに活躍し た豪傑)をして米國務省と

露職役當時駐米大使としては駐米公使栗野愼一郎(日

時の外務大臣陸奥宗光

條約の調印を終へ、我が國外相は同年七月先づ日英新

神樂は

さなつて来た、明治二十上 する條約改正の要求が熾列 の締結を必要と

一、三〇(東京)経済市況 - 家 迪 經濟市 

組 - 〇、五〇 (奉天) 料理献 - 一、三五 (奉天) 料理献 - 一、三五 (奉天) 経済市 方」山口勇治方」山口勇治 「新·文· 0 · Y ] 、四〇(東京)經濟市 (森雅之) その他多妻、 演出閥池公功 演出閥池公功 演出閥池公功 第五、三九(東・新)時報・ニュース・ニュース解謝・氣 黎通報・告知事項・明日 の番組 〇、三〇(新京)今日の ニュース 

通条一東 五九〇三3雷





種ラヤ種種 パツァ部撃 ルシナ分岩 類II品機 四通井菊南區西市屋古名 鄒葉營機岩鑒和昭

中京經濟新聞社

らお顔が平常より白ぼくな 粉目粉をつけておきます 特自粉で押へて粉白粉で直 つて居りますから、手もお 脂肪分多い

はないが脂肪分の ・大豆の揚物 大豆の揚物 なさい、 の鹽を入れてごらり むいた布巾は

|五(哈爾濱)初等ロー五(哈爾濱)初等ロース(哈爾濱)

たけ一夜水 大い方は幾分長目にフ 人養は新しい水 大い方は幾分長目にフ 人養は新しい水 の低い方、中年以上 にまで れた方い にまで 量の玉葱、又は青い葱をこ すり大豆に加へてよくまぜ 合せ、最後に生姜を卸し、 大豆に入れます のを選び、卸金で卸し大豆 のを選び、卸金で卸し大豆 △……大豆を必要な分量 だけ一夜水に浸し、充分水 を吸つたものを布巾に包み を吸ったものがあります。 なし、十分が十五公神飯の表面にかぶか 巾が御飯の水氣を吸取つて 湯の中へほうり込む方があざいますか?いきなり熱いさいますか?いきなり熱い 凍魚のもごし方

地政總局副局長篠地政總局の開設に當

〇(瀬京)詩吟・苅

. .

物にするのですから揚げるないと場ましたら(固くしないと場合に適當な固さになりましたら(固くしないと場合になりました。 潜の先で適當な形にします に砂糖と鹽少々で調味し、 時くづれてしまひます)之 して表面が少し軟かになつった中に凍魚を入れ、暫く 鮮味が無くなり、折角の味 たら取出して手早く庖丁し す、夏の日向水ぐらゐのぬや榮養分が逃げてしまひま

でなくうすめの肌色を用ひいが色でなく、桃色系統を用ひ、白粉の色もオークル 位上します、この際類紅の 粉白粉で濃淡をつけながら 粉白粉で濃淡をつけながら 家庭によつてそれぞれ調味なられる。ないようしい、つけ汁に醬せたものがよろしいのですけたものがよろしいのです。 煮立つた油の中で外側が少しこげる位に揚げます、こします つけ汁をかけ

が連ふと思ひます 家庭メモ れぞれ調味 凍つた豆腐を また凍らす

とのふ

ふかし御飯を 凍つた豆腐はカスカスして チに凍らして御覧なさい

| 「何時までも保存に耐へます | 豆腐と同様のものが出來、 一度カチカ

八、一〇(大阪)報告文學 大陸巡遊吟抄(古額庄亮 作)朗詠佐藤洋二、朗讀 解、伴奏大阪ヲデオオー ケストラ、指揮編喜多鎖 首都本部總務(日と國民の費)

情の病

の姿など殆ど 今まで子供法

日富りのよい南側の窓を閉して、新鮮な空氣と日本の中で十分乃至十五分間 大の中で十分乃至十五分間 大で見て、子供の健康に異状 大かなければ漸次二十分、三十分と時間を延ばして外氣 に馴れさせます、舊正月に しゅなると戸外の寒さもよは 十分と時間を延ばして外氣 に

満洲の春の ◆…これは一寸 ラデオプログラ シ思つて新聞の と思つて新聞の

景ではありますが、

とんどレコードで う、放送局は何も う、放送局は何も が登局は何も では無無 ので、その時間にスウイ ので、その時間にスウイ にさらですね、二度も中 たさらですね、二度も中 たさらですね、二度も中 たさらですれ、二度も中 たさらですれ、二度も中 たさらですな、二度も中

ドは?

派手な花模様に、ほかしにまとり入れたかと思ふほど

頸筋の

化粧は

顔よ

り白めに

本髪の場合は

を見せてぬます、最近婦 にとつて代るやうな傾向が 見え初めてぬましたが、今 見え初めてなましたが、今 の和服地銘側の柄行など全く五六年前

て來たのは嬉し

すれをの

長目にされた方がお上品に長目にされた方がお上品に

才週評

くなつてゐるのに、急激たために抵抗力は極端に

( 漫滅に嬉しき話であつた の放これを早くやらなか のたか、ラデオ近頃のヒ ット、質めてとらす(相

でも聞いてても親の利

致し方あ

ラデオ係宛送付のこと 投稿歡迎

てゐますから、採煖期が終

満鮮交驩の夕だけで

曲が奉天からあるといふ の小林千代子さんの歌謡 の小林千代子さんの歌謡 武のもの、納風のよのばかりだ

n (上) 下もあたくかに用意した上 下もあたくかに用意した上 下もあたくかに用意した上

抗力を養ひ徐々に戸外生活 度の變化に備へて今から抵 後の變化に備へて今から抵

現 修約時代が来ることは、日 響の提案とれて一日も無條約時代の出現 久里濱定て、世紀にわたる日米條約時代 井戸石見、が突然斷ち切られ、我が國 た関書授 た関書授 た関書授 に服務ののに、一 と幕府の た関書授 に関語が

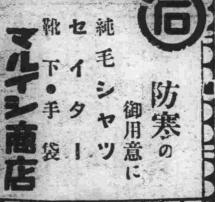
学との間に交渉は成立、江 戸に於て調印された、こゝ にはじめて日米間に通商關 同年六月十九日、ハリス總 領事と幕府の全標井上信濃 でとの間に交渉は成立、江

一造して、米國との國交を 大賞、發展に伴つて、過 意轉して明治の個代となり 我が國は諸外國の例になら つて、米國に全権公使を派

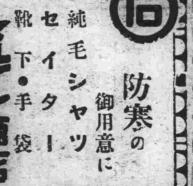
やかった。 かを得て、盛に米國 がを行はしめた、そ がを行はしめた、そ でにおいて、米國 ではいて、米國

五、三〇 (新京 (レコード) き = 樂劇「ジ ド」より = (ブ

> 防寒の 御用意に





























**刈部銀嶺** 





















「妙さん、

達四人で看護つてやりま

の「お纏さん!妙さん!」 を、送に妙子の魂を繋ぎ止める絆とはならなかつた。 「あの娘は生きてゐるより 死んだ方が餘程仕合せです

此の上なくいたまし

「私の為めにこんな事になりまして……」 りまして……」 りまして……」 なやらな氣がして、ひしひしと身を責められる思ひだった。 いか しいか ここんは眠つてあるのかはつきり お幸さんは眠つてあるのかはつきり しない妙子の顔を覗き込ん

暫くたつて、作さんが老 をの老豬師は檢溫したり、 その老豬師は檢溫したり、 活をとつたり、結局との醫 者でもやる常套手段を用ひ たのち、注射を一本らつた。

た。

・

妙子は生死の

皮路に

たつ

る気づかなかつたか らつしやいませ」と云 らかなかったか

醫師は沈痛は聲で宣告

ても駄目よ……いやおどれたに上げるの。……窓のれた、今夜顔が飼気が

世界の大工人のやうにさべるた。お本さんの紹介で、 あた。お本さんの紹介で、 は、若い頃はさぞ美人であ は、若い頃はさぞ美人であ でったらうと思はせる顔立で をことなくきつい感じのするのは、性格を表はしてゐ るでは、性格を表はしてゐ るであだらうと思はれた。

した。 、何處となく古めて、何處となく古めな一様の間はきち/と の本棚には、短歌に 本や小説類が一ばい

をとつて、懐中時計を見て をとつて、懐中時計を見て をとつて、懐中時計を見て

2

下ら、ナルバムをめくつた。そして勢子が訪れて来なって、多少氣掛りになり

和

割り切れぬ感情で限をそら妙子は少しやつれて見える。私は勝美しく見せてゐる。私は居美しく見せてゐる。私は

居ないもの。いや、いらつとやい。おばさんを伊勢詣さんは京都も見てないの」

物に繋がへつてくるのだつ たつた。解つた男は答へるだったまゝだつた。のからにふくらんでゆくの がけの氣力がないのか押默 では汚れた思ひ出が執

下らイシは 電優の光に透がす でもれた大からの に透がす

に聞ってみた。 人った。それと 人った。それと

たれといとらか

に聞つてみたいといふ気疹 れてくる」といふ條が気に れてくる」といふ條が気に れてくる」といふ條が気に れてくる」といふ條が気に は、三四百圓の

はひいたいからを考べると、この作者も随分とさればり強さがことに感せられる。もつと他の東北人的のなったといふ気がする。 ものを情がといる気がする。 もつと他の東北人的にある。 もつと他の東北人的の場がらを考べると、この作者も随分と練ればり強さがことに感せられる。もつともつと他の東北人的の場がする。

なイシよ、もういのかね。そこのかね。そこ

なんか來

作さんは落付か以態度で 中であは落付か以態度で 中であるは落付か以態度で 中に飛び乗り、ペダルを力 でたり去つた。 一でたり去つた。 一様は健感の的中に、大事 私は健感の的中に、大事 振舞ふお字さんい

られた。 「妙さん、三室さんよ」「「かさん、三室さんよ」「……あんた、来たの」はこれにした。 からに、 がたの」がに限を天井の一點に釘附いた限を天井の一點に釘附いた限を天井の一點に釘附いた。 意識は 紫外はつきり 早く隣つて

4後の十時を過ぎるまで は再び注射をうつた。妙子 は再び注射をうつた。妙子 の間にか夜に入つた

が時は夜の十一時過ぎだった。 は寒空に冷やかに蒼白く輝 は寒空に冷やかに蒼白く輝 がである。空を見上げると に変がしかる。

だつた。

でるた女がつと立土つた。 でるた女がつと立土つた。 和面長に幾分低いかと思は れる鼻もすつきりと通つて ・大きしかった。健康と若さの を異國風でなく明るい日本 ・大寺有の美しさだつた。その美しさ に男のそばへきたのだのに に男のそばへきたのだのに た。心の内ではびく/しし

路モンテカルロ隣 病科産婦 人科 電二二三二〇









シン商會 電話②一八四二













対を開いた。 あらかな何物 でを















ーー北京の景氣は悪くはない、しかし小資本の者には全く用の無い景氣である 文無しの俺にとつては殊更 のことだ。俺は或る仕事に 濱吉からの手紙は が身に沁みで弱ー! つて腑に落ちなかつたり、 つて腑に落ちなかつたり、 物のた。安心しなさい、さ 手紙の條は短かなものでは無駄な文句が一つだっては無駄な文句が一つだっては無駄な文句が一つだっては無駄な文句が一つだっていまして、明玉はできなかった。お照はさう思ふたかりをしてみなイツを呼なるなイツを呼なるなイツを呼なるなイツを呼なるなインを呼ばれる。 しょう と言ふのであった。 はみんなのないである。 いのだ、とお照には世からた。それにはいいのだ。きつとそれに相からた。さつとそれに相からた。さつとそれに相がある。

。夜は靜かにし 、退屈さらに息 にちよろ/ 一網

まり啞默つてゐる 光つて斃が

「あの人のこと考へてゐた」 に心配するやうなことない んだから」 おイシはさう言ひ乍ら、おイシはさう言ひ乍ら、 街路の白楊が緑衣を脱い だ裸姿でカサ人 と寒さら にこきざみにふるへてあた 舗道は凍てついて酔つた 別の足を度々すくひさらだ で、赤いネオンが舗道に 淡く流れでゐる。とある奥 出したやうに扉を押して中

ない。しかし厚い整 を知れない。しかし厚い整 を知れない。しかし厚い整

い少女の前には力無い少女の前には力無

一笑された時の死へとむか 一笑された時の死へとむか な瞬間にも似た快い苦痛を 超越した感覚が全身をつい

無言の儘むき合つて一分 かなくなつた。 無言の儘むき合つて一分

時

計

修

理

部

大

擴

Suj

曾

時

計

取当

一條通 角

リット はいました はいます はいました。人の社絶えた鎌道を があった。 解のてあるの だらら、足の運びが尋常でなく千島足だつた。

限を上げようとはしな ツ女を側にたゝしたま いたま

△黒河に文學院拓 強にあつて文化的に恵ま 北ない黒河では強てより 文學愛好家の間に文化園 た北邊の生活を豐にしよ た北邊の生活を豐にしよ

でうな家のなかでうな家のなかです。 なると、壁 に関風っ宙返り に関してゐると、壁 でうなすがに関かれ のるのが聞かれ のるのが聞かれ のるのが聞かれ

書のう

學

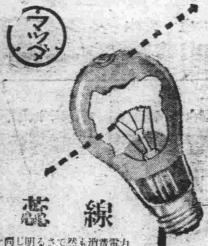
消



イタ拠麺起工場 御用 金牌 受 達 領

第

科学日本の勝利 フツダランプの二大栄冦



を少しでも引き下げ様とす るのは世界形明技術家に課 せられた困難なる宿題であ

金 П 資源愛護の欧策に沿ふ鎌口

稍子球

硝子球の西面艶消は世界照

明技術家の宿望でありまし

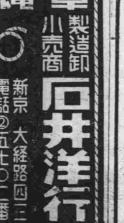
たが此の榮冠は聲社研究所

長不破工學博士によって得

られたのでありまけ

・奉天・新京・哈爾濱















新京祝町三丁目南廣場與銀旗

の賣買し致ます精々御利用と気が













#### 昭和十 どう動 五年

石橋菊子女史

史ラ 能第



削痰祛咳鎖

三才發彰 階通信





番〇〇五一 番九〇八局本記電

- h 服 で効きめがはつき 日で 體の調 子が變る!! カ 又は お子選が 又は お子選が 表記を をです他の 等で身體の をですせる。 でするですせる。 でするでする。 身體に精がなく 痩せ過ぎた人

あ水でであかい

工業用・家庭用・井戸用(カタログ書き)

一度の濾過で除菌と浄化





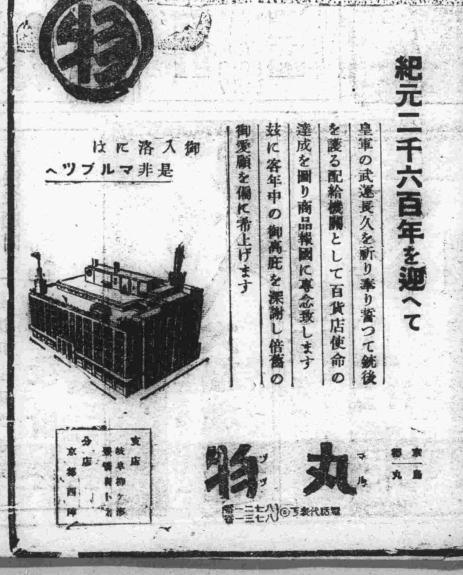


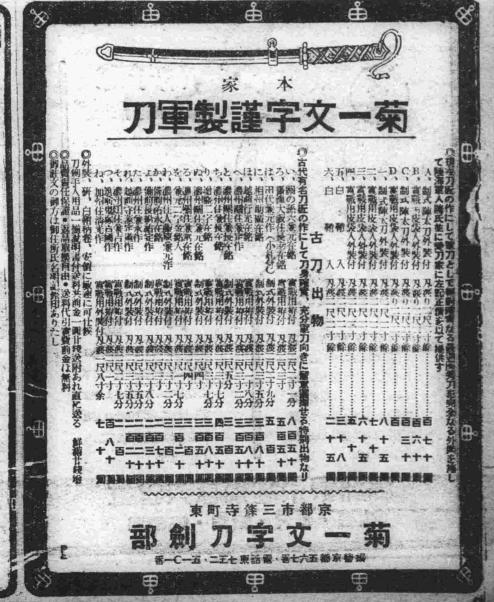






慮經濟





和てより白系ロシア人達は一次百年慶親の議典を撃行すい 大百年慶親の議典を撃行すい して奉親の議を致すべくか

十三日午後六時五

十二日



日系婦

建國祭睛の表彰者决る

六人の家族を守つて健闘を たものである、表彰社會事 だものである、表彰社會事

三十一日午後五時半頃南嶺崩壊土に生埋

実船口砂採取現場で河北省 無取中上部の土層が落下、 無取中上部の土層が落下、 無取中上部の土層が落下、 に絶命、この旨四道街署に に紀命、この旨四道街署に

## 田、谷南水長、各處長以 ・ 全藤御客本拜式 関務 ・ 会藤御客本拜式 関務 ・ 会藤御客本拜式 関務 ・ 会藤御客本拜式 関務 萬壽節諸行事決る

全満に蔓延の兆

3

新

保衛八金無料種痘實施

本年一萬戸の建設を計畫してゐる滿洲房産では國勢の 進展を反映する未曾有の家 進展を反映する未曾有の家 養精底を緩和すべく目下着 養事業進捗に兎角同社の菜 務購負が拒否される場合を 務購負が拒否される場合を 務購負が拒否される場合を

北鮮の天然痘

手借

房產、萬全

0

に 三、 本就宴 六日午後零時 業の意義を徹底させると同 で 三十分より軍人會館に於 時に本年度協和會務の進展 で 協和會首都本部では友邦日 の 慶祝(事)業協議 協和會首都本部では友邦日 の 慶祝(事)業協議 協和會首都本部では友邦日 で 臨時委員會を開催協議す で 臨時委員会を開催協議す 本 の紀元二千六百年慶祝事 ることになつた



大衆の儲蓄熟は驚く、現在の儲み 蓄を獎勵 来も系目づ

神を有き、家童の十銭儲金や新教科書への「郵政儲金とになつた と和政保險」の課目挿入などを行ふことになつた 六に對 に集中、協和會機構を通常を選挙の目標を滿系大 滿に儲蓄災勵の鐵壁

金 引續き取扱つてゐるが、儲 國郵儲に繰入れるよう要望 してゐる 開拓の夕べ延期 ため延期、来る五日午後六 ため延期、来る五日午後六 時より西廣場満級クラブに 時より西廣場満級クラブに

高洲林業株式會社理事長南 正樹氏は前理事長榛原可省 正樹氏は前理事長榛原可省 一日挨接の 協和會服全

看板

地政總局の事業は從來の土地機利の審定はもとよなつた土地権利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の土地機利の審定は後來の一般以下全員一局たいした。 性点 かしくも 陽屋 別市長、 植田財 が 成長が 揃っ さん 記者をつ









新京



羽衣町

丁

目



在京各宗教團體も大合同 一十五日 自魚、触、さわら、 しん、かながしら、 しん、かながしら、 石鰈、ぶり、棒さめ (貝類) あさり、蛤 (良類) 勢、小鳥、 (息類) 磐、小鳥、 (息類) 第、小鳥、 (息類) 第、小鳥、 (息類) 第、小鳥、 

慶祝行事愈よ多彩

のない満洲関に重要などもつ戸口調査簿を各つ戸口調査簿を各工整備して近く繁雄さ生要物資配給制にまで生変物資配給制にまでたなった腐時戸口調 製作日

滑勿に

H

0

集中

科科院

産婦産

の協力要望

高報に接した消防署員の活急報に接した消防署員の活象に接した消防署員の活象にある。

> X

住吉町のボヤ

**談に應じます** 改造中は多大の御迷惑をお掛け致しました、

本日設備完成一

藥局改造和知ら

4

時十五分以住

語で大火に到らず床の一部 な焦しただけで同四十分鐘 大したが原因は階下事務所 にあるストーブの焚き過ぎ に依る煙突過速の結果と列

新設 浦鐵髂院耳鼻科で治療を受さんば三十一日午後時頃」 一盗難

中央通署へ届け出た 一着(時慣四百五十圓)を 一着(時慣四百五十圓)を 一着(時間四百五十圓)を がはれたので

新京富士町五丁四条不却合の行 迎送课 雇 温廣 田告

有希望者は左連へ御出で下さい。海所の水太町一、場所の水太町 屬公司新京支店

「ボタンコウー流脈館女中 数名 和野ビル二階電(の) IMO九番 がイヤ街(梅ケ枝切一ノ一四) がイヤ街(梅ケ枝切一ノ一四) がイヤ街(梅ケ枝切一ノ一四)

ーユース時間延長 10 紅卍會(場所時間未定) 寒

議會演

說電

通路清真寺で

海人軟樂街に 施山さを加べた舊正を目腹 遊動警戒 れ州分延長して放送する

大田の多い大同公園東側の 京亭内に風に揺られてある 高亭内に風に揺られてある 高子東洋繁院田中院長立會 中には革財布在中の現金三十一四銭と武登山の印鑑があるのを通行 大が鉄見、所轄四道街署に 中には革財布在中の現金三十四銭と武登山の印鑑があるのかで登困による脈世目 ものみで登困による脈世目 あることが判明した、懐 育品り死體があるのを通 京亭内に風に捻られてみ ならば唯一の慰安場であ

ぶらんこ 殺強防力に

フ 7 15 樂 1

強は 力、 使用 簡便、 經ウ 原 0 液 回 13

電路3 六四三五 双

五

0

局

